

平成26年度 高松市公開事業評価 市民評価者からのご意見

市民評価者アンケート集計結果表

〔市民評価者：32人〕

1 本市職員の説明や回答は、わかりやすかったですか。

	わかりやすかった	ふつう	わかりにくかった	未記入
人数	9人	19人	4人	0人
割合(%)	28%	59%	13%	0%

2 総合司会者の進行について、どう思われましたか。

	適切だった	どちらともいえない	不適切なところがあった	未記入
人数	25人	6人	0人	1人
割合(%)	78%	19%	0%	3%

3 評価者の質問について、どう思われましたか。

	適切だった	どちらともいえない	不適切なところがあった	未記入
人数	17人	12人	2人	1人
割合(%)	53%	38%	6%	3%

4 公開事業評価の手法を活用して、事務事業を見直すことをどう思いますか。

	意義がある	意義を感じない	わからない	未記入
人数	27人	2人	3人	0人
割合(%)	85%	6%	9%	0%

〔市民評価者の主な意見・感想〕

- ・今まで高松市の事業について、深く考えたことはなかったが、今回参加して詳しく理解できた。今後は、市民として、もっといろいろなことに興味を持っていこうと思った。
- ・評価記入の時間をもっと取ってほしい。
- ・内容が難しく、今の若い世代の人には、ついていけないところがたくさんあった。
- ・説明時間が短く、内容が分かりにくいところがあったので、発表方法などをわかりやすくする工夫が必要。しかし、良い体験だったので、今後も継続してほしい。
- ・議論の中で、否定派の意見しか出ていないものがあったので、賛成派の意見も出ればよかった。
- ・成果目標の設定が事業の目的と合っていない。
- ・市民による評価は、有意義なので、今後も継続してほしい。
- ・難しい問題を少数の意見で評価するのは、困難なので、形式的議論に過ぎないものになる。経費もかかっているし、市民アンケート等で十分ではないか。
- ・行政の担当者が評価者の意見に対して、守りに入っていて、意見を採り入れる答弁がひとつもないのは残念だった。
- ・事業シートの資料がもっとあれば、判断材料としてもっとよくなると思う。箱モノなども公開事業評価の対象とすべきだ。
- ・資料が家に届いてから十分な時間がなかった。
- ・評価者の質問が連続すると質問内容が混乱して分かりにくかった。
- ・評価者の質問が少ない事業があり、もっと活発な議論がほしい。
- ・評価する時間が短かった。評価者の質問と担当者の回答が明確でなく、分かりづらかった。

平成26年度 高松市公開事業評価 傍聴者からのご意見

傍聴者アンケート集計結果表

[有効回答数：22人]
 (総傍聴者数：154人 回答率：14%)

1 あなたのお住まいをお教えてください。

	高松市内	高松市外	未記入
人数	17人	5人	0人
割合(%)	77%	23%	0%

2 本市「公開事業評価」を、何でお知りになりましたか。(複数選択可)

	広報たかまつ	高松市ホームページ	高松市作成チラシ	その他	未記入
人数	2人	11人	0人	8人	1人
割合(%)	9%	50%	0%	36%	5%

3 本市職員の説明や回答は、わかりやすかったですか。

	わかりやすかった	ふつう	わかりにくかった	未記入
人数	9人	9人	3人	1人
割合(%)	41%	41%	14%	4%

4 総合司会者の進行について、どう思われましたか。

	適切だった	どちらともいえない	不適切なところがあった	未記入
人数	12人	6人	2人	2人
割合(%)	55%	27%	9%	9%

5 評価者の質問について、どう思われましたか。

	適切だった	どちらともいえない	不適切なところがあった	未記入
人数	8人	10人	4人	0人
割合(%)	36%	46%	18%	0%

6 評価者・市民評価者の判定について、どう思われましたか。

	適切だった	どちらともいえない	不適切なところがあった	未記入
人数	8人	9人	4人	1人
割合(%)	36%	41%	18%	5%

7 公開事業評価の手法を活用して、事務事業を見直すことをどう思いますか。

	意義がある	意義を感じない	わからない	未記入
人数	15人	3人	4人	0人
割合(%)	68%	14%	18%	0%

〔傍聴者の主な意見・感想〕

- ・配布資料は、ビジュアル的にわかりやすいもの(イラストや写真)をもう少し取り入れるべき。
- ・総合司会者が評価結果を公表した後、総括者としてのコメントがあってもよかった。
- ・市民の生活に直結した意見やコスト意識を持った意見がもっと出てきたら良かった。
- ・判定区分が改善継続ばかりだった。改善課題のない事業はないから、改善継続は不要ではないか。
- ・事業の対象者の意見を直接聞いていない。市の担当を通じて間接的にしか理解できない。
- ・事業評価を受けた担当課だけでなく、所属局内で活用することが大切だと思う。
- ・今後の見直しの参考にするのであれば、もっと思い切った議論をしてもよい。
- ・午前中は、評価者の意見が少なく、活発な意見が出てほしかった。
- ・拡充～廃止の最終判定だけでなく、それぞれの結果判定の分布割合なども参考にして、結果を受け止めるべきだと思う。
- ・来年度から公開事業評価は止めるべき。